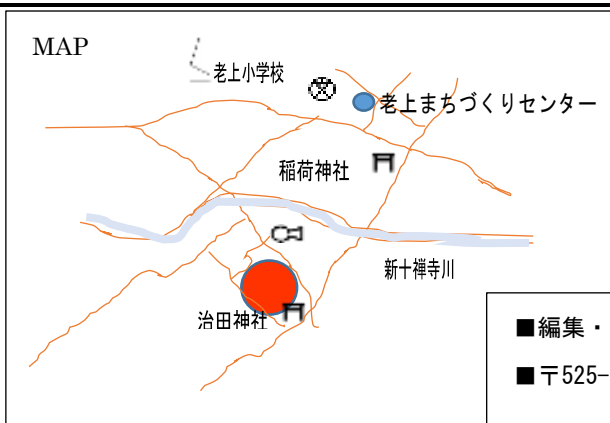
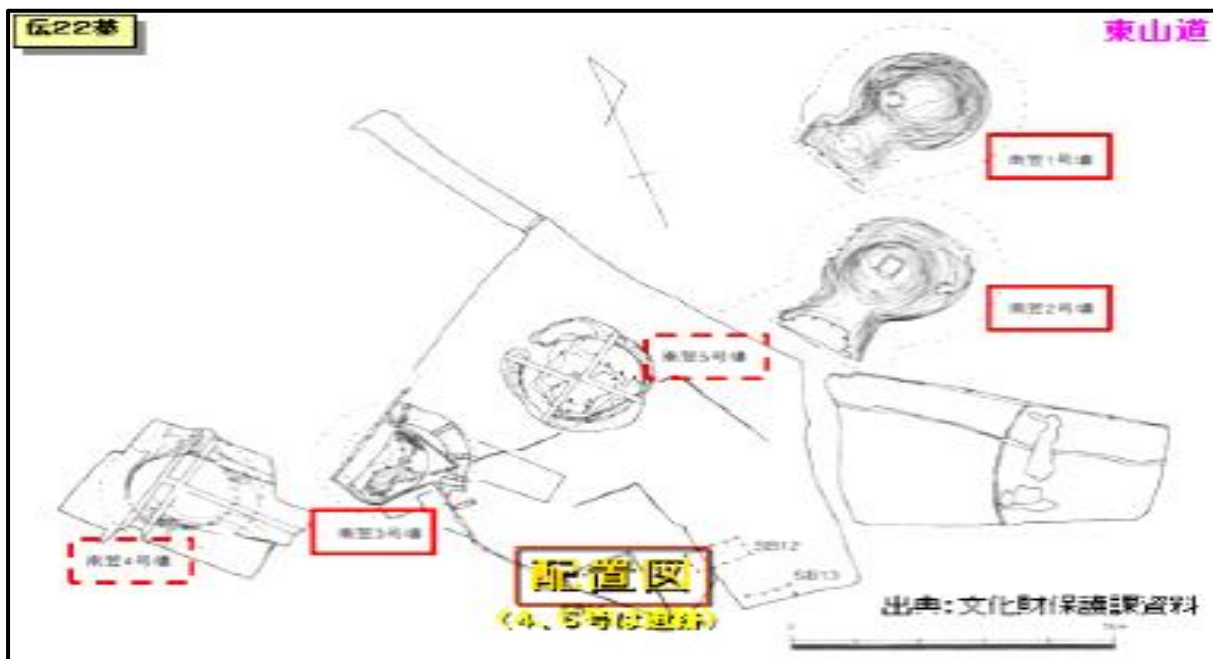


みほみがさこふんぐん
おいかみ 伝承スポット ② 南笠古墳群

通称では、^{ひょうたんやま}胡蘆山とよばれている南笠古墳群。南笠町北方に位置し、草津市の指定史跡(昭和48年/1973年10月15日)です。草津市で現存する唯一の古墳群とされ、^{ぜんぼうこうえんふん}前方後円墳2基と半壊状の円墳1基(1～3号墳)があります。平成14年のほ場整備でこの辺りには5基の古墳があったことが判明しました(図面参照)。

「栗太志」によれば、これらを含め22基の古墳が群集していたとあり、出土した^{はにわへん}埴輪片、^{すえき}須恵器などの考証から5世紀(400年代)後半から末頃に本地域を根拠地とした首長(治田氏もしくは笠氏)の大墓域であったと考えられています。散策の際に足をのぼして、遠い歴史に想いをはせながらこのエリアを歩いてみるのもいいかもしれません。(南笠町 小寺實)



- 編集・発行 老上学区まちづくり協議会
- 〒525-0055 滋賀県草津市野路町 520 番地
草津市立老上まちづくりセンター内
- Tel & FAX (077)564-1430
- Eメール oikami@machikyou.jp